

# 身近な地質スポット

## 岐阜県土岐市／「美濃の壺石」

国指定天然記念物の「美濃の壺石」を探しに、ちょっとそこまで行ってみました。

壺石とは、土層中で種々の条件がそろった場合にのみ局所的に産出する珍しい石です。

形は不規則な凹凸を有する球形、または楕円形をしており、大きさは様々で規則性はありません。

成因は、礫、砂、粘土の塊を包み込むようにして、珪質物や鉄分の溶液が大小の礫、砂を徐々に膠着させ、外殻をつくっています。堅い外殻の中には乾燥した粘性土などが一杯詰まっており、殻の一箇所の礫を取り除けば内容物は容易に取り出すことができます。

壺のように中空の球塊となるため、一輪差し、観賞用として風情があります。

珍しい壺石ですが、破片であれば意外と手軽に見つかります。（写真-2参照）

新第三紀鮮新世に形成された土岐砂礫層が露頭する斜面を見つけ、赤茶けた箇所をじっくり観察してください。礫や砂がくっついた陶器のような大小さまざまな破片が見つかるはずですよ。

密集して産出していた土岐津町土岐口、土岐プレミアムアウトレットさんの南東交差点に指定石碑（指定日：昭和9年1月22日）がひっそりとたたずんでいます。

完全体の壺石を探すのはなかなか難しいですが、土岐市役所には立派な「壺石」が飾ってあります。

玄関、陳列棚の硝子ケースに収まった手頃な大きさのものと、1階ロビー横にむき出しで飾られた非常に大きなものがあります。（写真-1参照）

一見汚い土の塊ですが、その生い立ちを考え、自然が偶然作り出した奇妙な形を眺めていると趣があり、無格好な姿にも愛着がわいてきます。食卓や床の間にお一ついかがですか？

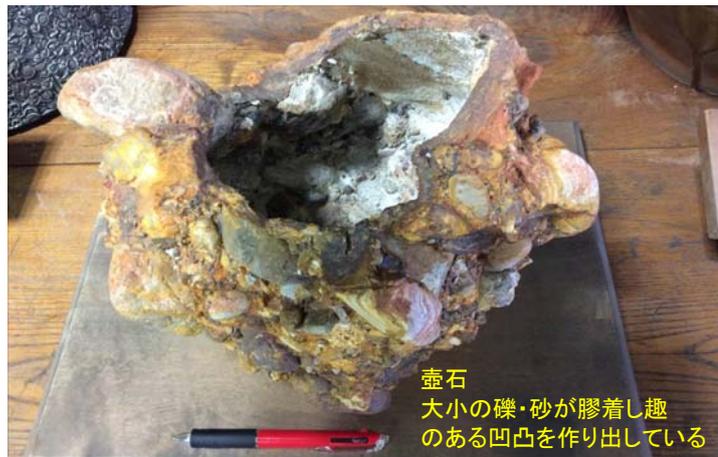


写真-1 土岐市役所に飾られた「美濃の壺石」



### 壺石の破片（下）

裏返してみた（表裏はない）。

砂の粒径はさまざま。

ナイフで容易に礫・砂の粒子は取り除くことができた。

小さな空隙が見られる。

### 壺石の破片（上）

外殻に礫・砂が膠着している様はまるでガムを落とした時のよう。

外殻は鉄分が多いのか赤褐色。

叩くと陶器よりは鈍い金属音がする。

外殻の厚みは右5～10mm、左1～2mm。



写真-2 今回見つけた壺石の欠片

余談ですが、

この地質スポットの近くにはこんなお店がありました。

## こじまや



こじまや 岐阜県土岐市土岐津町土岐口1494-3  
営業時間:水～金/11:30～14:00、土・日・祝日/11:00～14:30  
定休日:月、火

こだわりの自家製麺と飽きのこないスープが絶妙で、  
毎日でも食べられそう。  
「ふっ」と思いたし、食べたくなる懐かしい味です。



19号線から土岐市街へ向かう側道へ。  
集落の一角に突如表れるラーメン屋。  
福井中華そば「まるせい」一番弟子さん  
のお店ようです。

ぐるぐるナルトがうれしい！  
チャーシューにはしっかりした味がしみこんでいます。  
平日限定ランチ、丼物が付いて780円。